

令和7年度

元気な冬



間口の雪処理のお願い。



除雪に伴う玄関先の置き雪処理は、皆様のご協力をお願いいたします。

路上駐車はやめよう。



路上駐車があるとその道路全体が除雪できない場合があります。

道路へ雪だしはやめよう。



道路への雪出しは通行車両の支障となります。みんなで円滑な交通を守りましょう。

道路除雪のお問い合わせ

■市道 江別除雪センター

工栄町19-1:江別環境整備事業協同組合
TEL 381-6622
(電話でのお問合せ:6~20時)

■国道 北海道開発局

12号・337号・275号(新石狩大橋より当別側)
当別分庁舎 TEL 0133-23-2074
275号(新石狩大橋より札幌側)
札幌道路事務所 TEL 011-854-6111

■道道 北海道札幌建設管理部当別出張所

TEL 0133-23-2220

みんなの力で快適！

冬の暮らし！

ルールを守って、みんなで冬を乗り切ろう！

除排雪の移り変わり、江別市の除排雪

除排雪の移り変わり



古くから市民と行政で協力しながら進めてきた除排雪。その体制や取り組みは市街地の発展や人口増加など、時代に合わせて変化してきました。

～創成期～ 昭和30年代～40年代

高度経済成長に伴い、除排雪も人力から機械作業へ移っていきました。

●幹線道路の除排雪

市の直轄事業で実施していました。

●生活道路の除雪

自治会が市の補助金を受けて行っていました。

○機械除雪の始まり

昭和40年代初め、約70km行われていた除雪距離は、除雪機械の機械化が進み、その後10年で約5倍になりました。



当時の除雪写真(学園通り)

●市と地元協力で排雪作業

現在の自治会排雪の前身となる「共同除雪」。商店街が実施する除雪作業に市からダンプトラックが運搬協力し、喜ばれました。(昭和35年 江別市政だより より)



～成長期～ 昭和50年代～平成中期

市街地拡大に伴い、除排雪作業の委託化が進みました。

●幹線道路の除排雪・生活道路除雪の委託化

札幌市のベッドタウンとして宅地造成が進んだ結果、5年間で人口が2万人増えました。この頃から作業の委託化が進みます。

●自治会排雪の始まり

昭和54年から、自治会が自主的に実施する地区内の排雪作業を支援する新制度を定めました。当初は2自治会から始まりました。

～情報化時代～ 平成中期～現在

インターネットが普及し、情報化が進みました。

○市の除排雪の現在

新雪除雪(車道・歩道)、路面整正、拡幅除雪、幹線排雪、自治会排雪支援、凍結路面対策などの除雪作業を行っています。また、気象観測、LINE通知、地デジ広報など、除雪業務のICT化を進めています。

○自治会排雪の拡大

106自治会が制度を利用し、全体の約77%の生活道路で実施されています。



昭和29年
市制施行、江別市となる
人口約3万4千人

大麻、野幌、江別、豊幌の各地区の宅地造成が進み、人口が増加

平成3年
人口10万人達成

平成17年
江別市人口ピーク
人口約12万5千人

現在

江別市の除排雪

新雪除雪

- ・道路上で雪をかき分けるほか、路面の圧雪を削る作業です。
- ・ほぼ連続した降雪で、降り始めから降雪量10cmを目安とし、通行の支障になると判断された場合などに行います。
- ・車道だけでも約800kmの除雪作業を深夜から朝7時までに行っています。



新雪除雪(除雪ドーザ)

幹線排雪

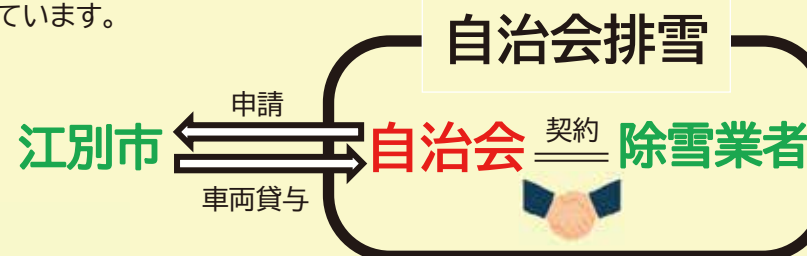
- ・雪山をロータリ除雪車でダンプトラックに積み込み、雪堆積場へ運搬する作業です。
- ・幹線道路やバス路線など、物流や通勤通学等の市民生活を支える重要な路線の通行幅を広げます。



幹線道路の排雪

自治会排雪の支援

- ・自治会排雪は、自治会が地域の冬の日常を“大人”も“子供”も、便利で安心な環境にするため実施する「地域の助け合いによる生活道路の排雪作業」です。市は車両(大型ロータリ、運搬ダンプ等)を貸与する支援を行っています。



その他の作業や、よくある質問は、市ホームページで紹介しています。



除雪情報の取得

登録、設定すると江別市より除雪出動情報が届きます。



自治会排雪スケジュール情報

自治会排雪の日程がわかります。

※令和7年度版は1月中旬頃から掲載予定です。

